

第1回同窓会役員会・基調講演（要旨）

『少子化、無償化において私学の在り方』

岐阜東高等学校卒業（第16期 普通） 浅野伸一

要 旨

岐阜県において高校進学をする中学生は、減少の一方である。公立高校においては統合整理がされるが、私立高校における統合は考え難く、存続か廃止の危機である。

私立高校に求められる存続要件は、中学生に選ばれる魅力ある学校づくりや入試方法の再検討である。近年（2025年）において毎年1,000人の受験生が他県の私立高校への流出している事については考えなければならない。

岐阜県の私立高校のパイオニアとして、岐阜東高等学校が受験を控えた中学生に対して「岐東をアピール」するには、卒業生が社会人になってからの活躍を通して、岐東で学んで良かったと思える学校にすることである。そのため、我々同窓会の役割は大きいと考える。

岐阜東高等学校・同窓会役員会主催

2025年9月20日（土）

岐阜市メディアコスモス・つながるスタジオ

質疑応答

1. 牧田秀憲氏（岐阜県議会議員）

（質問１）富田学園には岐阜東高校と富田高校の２校が有ります。今後はこの２校はどの様に変化するとお考えでしょうか？

（応答１）学校への無償化になりますので、岐阜東高校と富田高校の生徒数に従いそれぞれの高校に無償化されます。現在岐阜県下には全日制私立高校が１６校在ります。県内中学校の卒業予定者が２０２３年３月１万８２１６人で５年後の２０３８年には３７．３％減の１万１４２６人になると推測されています（岐阜新聞２０２５年４月５日付け朝刊）。今年３月３１日に決定した「私立を含めた高校授業料の無償化」が２０２６年度から始まる見通しです。支給上限が年額４５万７０００円に引き上げられる予定です。

岐阜東高校の場合、校納金等で（２０２５年度）授業料が、月額３万３０００円（年３９万６０００円）分が対象となると思われます。しかし、この他に私学の場合は教育充実費として月額１万３５００円が別途負担となります。

（質問２）学校の施設費や運営費には使われないのでしょうか？

（応答２）それは〔校納金等〕として、教育充実費や施設整備は別途父兄の負担になると思います。私は、この部分も無償化の対象にするべきだと考えています。

2. 高橋 正氏（岐阜市議会議員）

（質問３）岐阜県庁 子供・女性 私学振興課のリーフレット「岐阜県の私立高校授業料の無償化支援を知ろう！」の中で、その３「私立高校の先生から一言」について説明が有りました。「挑戦する君を応援する場所、それが私立」、「一人ひとりが主役、私立高校で輝く毎日を」、「私立高校の先生の情熱が君の未来を開拓」、「君の夢を全力で応援！それが私立」、「君のやりたいこと、最高の環境で学びませんか」について、浅野さんは、いずれも公立高校の先生も同じで私学の特徴ではないと言われました。私も同じ意見で、先ほど牧田さんが言われたように、「校納金等」の教育充実費を丁寧に説明し、公立高校には無いスローガンを作るべきだと思いますが、どうでしょうか。

(応答 3) 現在、私立高校を選ぶ方法に「推薦入試(専願)」と「一般入試(専願・併願)」が有ります。地元の国公立大学を目指す進学校には 5 教科の得点が大切で、模擬試験や調査書や共通テストで基礎学力のある受験生を獲得するのが重要だと考えています。

(質問 4) すでに岐阜市における中学校卒業生が減少して来ています。公立高校は地域内での統廃合や県下での統合が議論されていますが、私立高校の統廃合は難しいと思いますが。

(応答 4) 私学では経営者トップ同士が折り合いを付けることは難しいでしょう。競争の時代になって廃校する私学も出るでしょう。進学校なのか自己研鑽支援校なのか、中学校教諭も進路指導について難しい局面を迎えていると思います。

(質問 5) すでに中学校での進路相談より小学校、また幼稚園での将来教育の在り方が議論され始めています。

(応答 5) 我々が受験勉強している時は、学歴社会が始まった頃で「高校卒業証書」が必須の時代でした。富田学園も「富田女子高校」に男子校の「岐阜東高校の設立」を受け入れ、生徒数も増えて行く時代でした。現在は、少子化により生徒数は下降線を辿り、私学も生き残りをかけた競争の時代になりました。

3. 坂井至通氏(同窓会会長)

(質問 6) 私学高校を選ぶ要因にどんな事が大切だとお考えでしょうか？

(応答 6) 岐阜東高校のパンフレットには県内私学で初となる「英語に強くなる」、「オーストラリア・ターム留学」、「オンライン英会話」などが掲げてありますが、今や当たり前のことでアピール力はありません。また、「医療系大学進学強化」もそれほど目新しくありませんが、これで生徒数は増えています。私は「地元国公立大学入学強化」が選ばれるための王道だと思いますが、これだけでは生徒は集まりません。5 年前までの 10 年間は、これで失敗してきたのです。生徒数の減少は国公立大学合格の減少になります。生徒数は力です。

(質問 7) 「選ばれる学校の指標に偏差値が有ります」が、新たに考えられる具体的な指標には何が有りますか？

(応答 7) 国公立大学へ毎年 50 名以上を目指す事を推奨します。今までもそうでしたが、今後はさらにチャンスが多くなるはずです。

（質問 8）理系女子を特別に育てるコースの新設はどうでしょうか

（応答 8）男女共学になったので、女子の理系進出は重要です。日本は技術立国なので大学を卒業した後に社会進出に希望を持たせる教育は魅力があると思います。「卒業生と語る会」でも、実社会に出て活躍している先輩と語る事が必要です。

（質問 9）そのほかの取り組みに、他校とは異なる施策には何が考えられますか？

（応答 9）現在、母校では 1 年生を対象に「職業人講話」を実施して 3 年目と聞いております。NPO 法人（同窓生が運営している）とも協力して、社会貢献を実体験しています。

（質問 10）そうすると、同窓会の連携強化も必要ですね。

（応答 10）社会的評価は、卒業生の活躍に掛かっています。高校を卒業後 10 年くらい社会経験を積み、活力に満ちた同窓生と語る会が必要です。「選ばれる学校」になるには、「自分の子供も母校に入学させたい」と思える学校にする事です。我々同窓会も社会貢献を通じ、母校の為に一層の努力をして行くつもりです。